

講演会のご案内

上智大学中世思想研究所主催・女性神秘思想研究会共催

中世における愛の諸相

このたび上智大学中世思想研究所は、上智大学研究機構主催「ソフィア・オープン・リサーチ・ウィークス2015」内の一企画として、研究協力関係にある女性神秘思想研究会とともに、若手研究者を企画担当とする講演会を開催する運びとなりました。世界的規模での構造変革が著しい速度で進行していく今日、伝統のうちに蓄積されてきた人類の叡智を顧みつつ人間観・世界観を根本的に問い直す人文研究の重要性は、日々高まっております。専門また世代を異にする研究者が日頃の研究を披瀝し合い、議論を通して問題意識を共有する場に、今回もまた多くの方々にお立会いいただき、議論に参加していただきたく、ご案内を申し上げます。一般の方々のご来場も歓迎いたします。

上智大学中世思想研究所所長
佐藤直子

講演会の概要

「神は愛である」（1ヨハ4:16）。キリスト教思想の根幹をなす「愛」は、自己肯定、友愛、神との一致への憧憬といった諸相を呈します。中世の思想家は、人類・教会・個々人の魂と神との神秘的な愛における一致を謳いますが、これは愛のもっとも崇高な営みと言えるでしょう。本講演会で、時代的にはキリスト教の中世から近代初期にまで射程を広げ、思想・美術においてはもちろん、科学的思惟においてすら「愛」が主題化されてきた軌跡を学際的に描き出します。

第一部では、美術史・教父思想・初期教会研究（教会史）を専門とする若手研究者によるシンポジウムを開催いたします。第二部では、初期近代の自然哲学・科学思想の研究者と、キリスト教・ユダヤ思想の伝統を基盤に存在論を展開されている専門家からご講演をいただきます。本講演会が、まさしく「愛」の名のもとに、専門領域の垣根、また登壇者とフロアーの隔たりを越えた交わりの場となり、現代に生きる私たちに省察と再出発の機会とを与えるものとなりますことを願っております。

企画担当：立教大学文学部准教授 上智大学中世思想研究所準所員
女性神秘思想研究会幹事 阿部善彦
上智大学研究機構特別研究員（中世思想研究所配属） 梅田孝太

日時：2015年11月22日（日）10:30～17:00

会場：中央図書館8階（L-821会議室）

プログラム

10:30-10:40 開会のあいさつ

10:40-12:40 第一部 シンポジウム（司会：阿部善彦 コメントーター：松澤裕樹）

グリュネヴァルトの磔刑図に現れる神の愛／茅根紀子（日本学術振興会特別研究員）

神名としてのエロス——ディオニュシオスのエロス論／袴田渉（日本学術振興会特別研究員）

初期教会における愛とゆるしの問題——殉教者と贖宥をめぐる言説の検討／大谷哲（日本学術振興会特別研究員）

12:40-13:30 — 昼休憩 —

13:30-16:50 第二部 講演（司会：梅田孝太 コメントーター：津崎良典）

愛は世界を動かす——前近代宇宙論における神、知性、天球／坂本邦暢（立教大学兼任講師）

アウグスティヌスと愛——sero te amavi——／宮本久雄（東京純心大学教授）

16:50-17:00 閉会のあいさつ

連絡先：上智大学中世思想研究所

☎03-3238-3822 imdthght@sophia.ac.jp

上智大学四谷キャンパス：JR中央線、東京メトロ丸ノ内線・南北線/四ッ谷駅 麴町口・赤坂口徒歩5分